

# 平成28年度 伊勢崎市佐波郡中学校春季剣道大会要項

- 主催 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会
- 後援 伊勢崎佐波剣道連盟
- 日時 平成28年4月23日(土) 午前8:00開館 9:30開会式  
準備終了後 Bチーム大会を行う  
4月24日(日) 午前7:30開館 9:00開会  
本大会—団体戦・個人戦
- 会場 玉村町社会体育館  
佐波郡玉村町大字上之手1517 0270-65-6699・6537

## 5. 大会役員

部長	鈴木 寛史 (玉村中)		
副部長	武井 利行 (玉村中)		
委員長	涌沢 直行 (四中)		
副委員長	日暮 由貴 (三中)	降旗 悠子 (四ツ葉中等)	
委員	田中 俊紀 (一中)	永井 佳子 (一中)	内田 宜伸 (二中)
	小倉由紀子 (二中)	森村 祥子 (三中)	菊池 慧 (四中)
	高橋 敬子 (殖蓮中)	豊島 俊春 (殖蓮中)	中山 佐織 (宮郷中)
	鈴木 茜 (赤堀中)	井上 雄斗 (赤堀中)	高橋 勝利 (赤堀中)
	八田 直子 (あずま中)	茂木 妙子 (境南中)	伊藤 孝裕 (四ツ葉中等)
	田村 一郎 (玉村中)	坂口三津子 (玉村中)	細田 晃弘 (玉村南中)
	野口 高弘 (玉村南中)		
総務	中島 一之 (四中)		
事務局	涌沢 直行 (四中)	前原 聡 (あずま中)	降旗 悠子 (四ツ葉中等)
会計	日暮 由貴 (三中)	真下 東 (境南中)	
報道	日暮 由貴 (三中)	目崎 咲希 (宮郷中)	

## 6. 競技役員

進行	日暮 由貴 降旗 悠子 涌沢 直行
コート作成	①中島 一之 ②日暮 由貴 ③前原 聡 ④鈴木 茜
検量	真下 東 降旗 悠子 中山 佐織 鈴木 茜 井上 雄斗
試合場係	①中山 佐織・八田 直子 ②目崎 咲希・高橋 敬子 ③伊藤 孝裕・内田 宜伸 ④森村 祥子・田中 俊紀・田村 一郎
本部記録・賞状	降旗 悠子 高橋 勝利 日暮 由貴
接待	小倉由紀子 永井 佳子 茂木 妙子 坂口三津子
救護	田村由香利 (三中)
審判員	伊勢崎佐波剣道連盟審判員、高体連審判員、小体研審判員 中体連審判員(中島、涌沢、真下、鈴木、井上) 神沢、田村、町田、清水、近藤、長竹、小杉、澁澤、小此木
コート作成係生徒	①四中 ②三中 ③宮郷中 ④赤堀中
試合場係生徒	①あずま中 ②宮郷中・あずま中 ③四中 ④一中・三中・赤堀中
接待係生徒	一中女子

## 7. 参加資格

- (1) 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得た生徒であること。
- (2) 合同チームの大会参加については、Bチーム大会のみ認める。

## 8. 監督・引率

参加選手の監督・引率は、出場校の校長・教員とする。

## 9. 参加制限

- (1) 24日 本大会
  - 団体 (県大会出場校決定戦)・・・男女各校1チーム (正選手5名・補員2名)
  - 個人・・・男子各校5人、女子各校7人
- (2) 23日 Bチーム大会
  - 団体・・・チーム数に制限なし (主力チーム正選手を除く)

## 10. 競技規則・競技方法

- (1) 本大会 (24日)

### ○団体戦

・男女とも参加数は12校。予選リーグ・決勝トーナメントの順で行う。予選リーグは、3校を1組とし4

組で行う。(県新人大会ベスト8以上、伊佐新人大会ベスト4をシードとする。)決勝トーナメントは、予選リーグの各組1・2位のチームによって行う。

○予選リーグの場合

- ・3分3本勝負。勝敗が決しないときは、引き分けとする。
- ・各試合の勝敗は、勝者数→取得本数の順で決め、すべて同数の場合は引き分けとする。
- ・得点は、勝ちが1点、引き分けは0.5点、負けは0点とし、得点→勝者数→取得本数の順で、予選リーグの順位を決める。
- ・リーグ戦1位(または2位)が2チームのときは、任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負とし、勝敗が決しないときは、延長戦を時間を区切らず勝敗が決するまで行う。リーグ戦1位が3チーム(三すくみ)のときは、任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負とし、勝敗が決しないときは、1本勝負の延長戦を時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

○決勝トーナメントの場合

- ・3分3本勝負。勝敗が決しないときは、引き分けとする。
- ・勝者数→取得本数の順で勝敗を決め、すべて同数の場合は任意による代表者戦を行う。代表者戦は1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

◎個人戦

- ・トーナメント戦。(県新人戦ベスト8以上の選手・伊佐新人大会ベスト4をシードとする。)
- ・3分3本勝負。勝敗が決しないときは、1本勝負の延長戦を時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

※試合は、団体戦、個人戦の順で男女並行して行う。

(2) Bチーム戦(23日)・・・団体戦のみ

- ・トーナメント戦。
- ・3分3本勝負。勝敗が決しないときは、引き分けとする。
- ・勝者数→取得本数の順で勝敗を決め、すべて同数の場合は任意による代表者戦を行う。代表者戦は1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。

(3) 大会細則

- ①突き技は禁止とする。
- ②上段はとらせない。(隻腕については、その都度協議する。)二刀は使用させない。片手技は有効打突としない。無理押しはしないこと。
- ③サポーターなど(足袋・テーピングを含む)の使用については、試合場係の先生に届けてオーダー表に記入してもらうこと。両足可。ゴムや革およびすべり止めを底にはった物などは禁止。指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
- ④竹刀の長さは3尺7寸(114cm)以内。重さは、男子440g、女子400g以上。太さは、男子25mm以上、女子24mm以上。竹刀の検量は、Aチーム戦・個人戦出場者は必ず行うこと。  
[違反をした場合について]
  - 該当競技者は失格とし、既得権を認めない。さらに相手に2本を与える。
  - リーグ戦においては、補員の補充は認めず、すべての試合に前項を適用する。ただし、トーナメント戦においては、次の試合から補員の補充を認める。個人戦においては、発覚時点で失格となり、以前の試合にはさかのぼらない。
- ⑤防具・剣道着・袴の着装をきちんとすること。面紐の長さは、結び目から40cm以内(長い場合は切る)。胴紐はほどけないようにする。小手紐はきちんと結ぶ。お守りなどの付属品はつけない。
- ⑥選手の名札は、校名を上横書き、名字を縦書きにし、垂れにつける。
- ⑦団体戦に4名で出場の場合は次鋒が、3名で出場の場合は次鋒・副将が不戦敗となる。

※その他は、(財)全日本剣道連盟「剣道試合審判規則・細則」及び「日本中学校体育連盟 剣道部申し合わせ事項」「関東中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項」に準ずる。

(4) その他

- ①監督および審判の服装は、紺のブレザー・白のワイシャツ・えんじのネクタイ・グレーのズボン・紺の靴下に準じたものとする。(全日本剣道連審判員服装規定に準じる。)
- ②審判は24日の郡市代表決定戦は伊勢崎佐波剣道連盟・高体連・小体研・中体連の先生方へお願いする。
- ③表彰 団体は1位～3位及び県出場校、個人は1位～3位及び県出場者に賞状を与える。団体戦(本大会)優勝・準優勝チームには、優勝杯・準優勝杯を与える。(前年度優勝校は優勝杯返還を行う。準優勝校は準優勝杯の準備をする。男子：①赤堀中 ②四ツ葉中等 女子：①四ツ葉中等 ②四中)
- ④各校はオーダー表(B4用紙2枚を貼り合わせたもの)を23日に提出する。

	先	次	中	副	大
○					
○					
中					
男					
B1					

※BチームはB1・B2・B3とする。女子は学校名を赤で記入する。

- ⑤23日のBチーム戦の審判は、Aチームの生徒が行う。各校は公正に審判ができる生徒を男女各3名、審判員として選出する。審判は、自校のチームの試合以外の審判を行う。